



香美町まちなか移住相談室

今年度から移住定住窓口の人員も増員し、窓口機能も街中に移し新たな



松岡 大悟 議員

オンラインで移住定住相談の充実を 若い世代受入れの為、取組を進めます

展開を図っている移住定住施策。コロナ禍の厳しい状況下での細やかな対応が、コロナ収束後の結果に繋がると考えるが、今後の具体的な展開を伺う。

町長 今年度は、香美町独自にオンラインに

よる移住相談を開始し、7月までに11件のオンライン相談を受けています。その周知方法として、移住定住ウェブサイトを、各種SNS、移住スカウトサービスSMOUTに掲載して、その影響もあつて、今年度は20代の相談者が増加を



す。今後の具体的な展開としては、若い世代の移住者を受け入れるため、引き続き、SNSやウェブサイトでの情報発信、オンライン相談や個別の町内見学を繰り返し行う等、関係人口の創出に努めることで、移住や町出身者のUターンにつながるような取組を、今まで以上に進めていきます。



子供たちも住民、子供たちの安全確保を最優先に



小谷 康仁 議員

遠距離通学費補助金交付要綱の再考を 見直しは必要だと思っています

①幼稚園、小学生の徒歩通学で香住区は4km、村岡、小代区は2.5km以上と補助金対象の距離に違いがあるのは問題では。
②新たな路線で通学バス運用するのは大変だが、同じ路線上であればバス

利用するのが安全確保に繋がるのではないのか。
③本町は、スクールバス、町民バスが走り大変便利である。空気を運ぶのなら子供達を運んであげれば良いのではないかと見直しが必要なのは。
④古い要綱は定期的に見直しが必要なのは。

思っています。
②危険が伴ってくる時には、見直しが当然必要だと思っています。
③全て今のご時世、車が走っている道路を歩いてくるわけですから、バスに全部切り替えることに関しては良く検討していかなければならないと思っています。
④見直しは必要だなどというふうには思っています。

